

お 知 ら せ

平成 2 9 年 1 月 2 7 日
東 北 電 力 株 式 会 社

東新潟火力発電所 港 1 号機作業停止期間の延長について

当社東新潟火力発電所港 1 号機（所在地：新潟県北蒲原郡聖籠町、定格出力：35 万 kW）は、運転中のところ、1 月 8 日にボイラー高温再熱蒸気管※を覆っている保温材の外面より微量の水の滴下が確認されました。この滴下は、保温材へ雨水が浸入したことによる一時的なものと推定し、滴下の状況を監視しながら、運転を継続しておりましたが、滴下量が減少しなかったことから、1 月 20 日より発電を停止し、2 週間程度の予定で点検等を行っておりました。

点検の結果、ボイラー高温再熱蒸気管の溶接部にひび割れが認められ、復旧に時間を要することが判明したことから、停止期間を延長することといたしました。

今後、復旧作業を進めてまいります。ひび割れに至った原因調査を踏まえて補修方法等を検討していくこととしているため、復旧時期は未定です。

なお、当面の電力需給については、必要な供給力を確保できる見通しです。

※一度タービンで使用された蒸気を、再度ボイラーで過熱し、タービンに送るための配管

【東新潟火力発電所の概要】

	出力（kW）	燃料	運転開始年月
1 号機	600,000	LNG・天然ガス・重原油	昭和 52 年 4 月
2 号機	600,000	LNG・天然ガス・重原油	昭和 58 年 6 月
3 号系列	1,210,000	L N G	昭和 60 年 10 月
4 号系列	1,700,000	L N G	平成 18 年 12 月
5 号機	339,000	L N G	平成 24 年 6 月
港 1 号機	350,000	L N G・重油	昭和 47 年 11 月
港 2 号機	350,000	L N G・重油	昭和 50 年 11 月

以 上

（別紙）東新潟火力発電所 港 1 号機 概略図